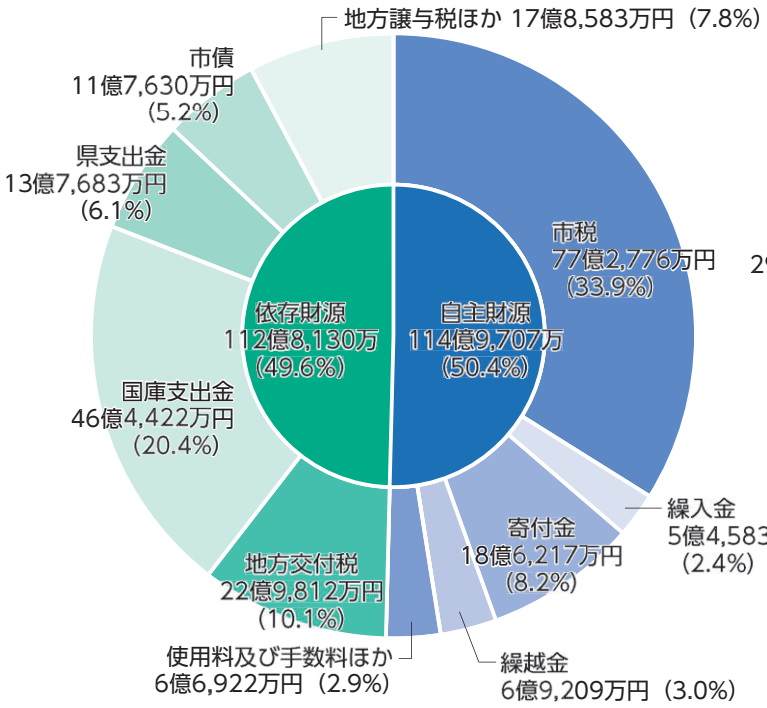
令和７年度　決算のお知らせ

市では、市民の皆さんからいただいた税金をはじめ、地方交付税、国県支出金、寄付金などを財源として、住みよいまちづくりを進めています。令和７年度にお金がどのように使われたのか、一般会計を中心にお知らせします。

※歳入・歳出のグラフ内の金額については１万円未満を調整のうえ記入しています。

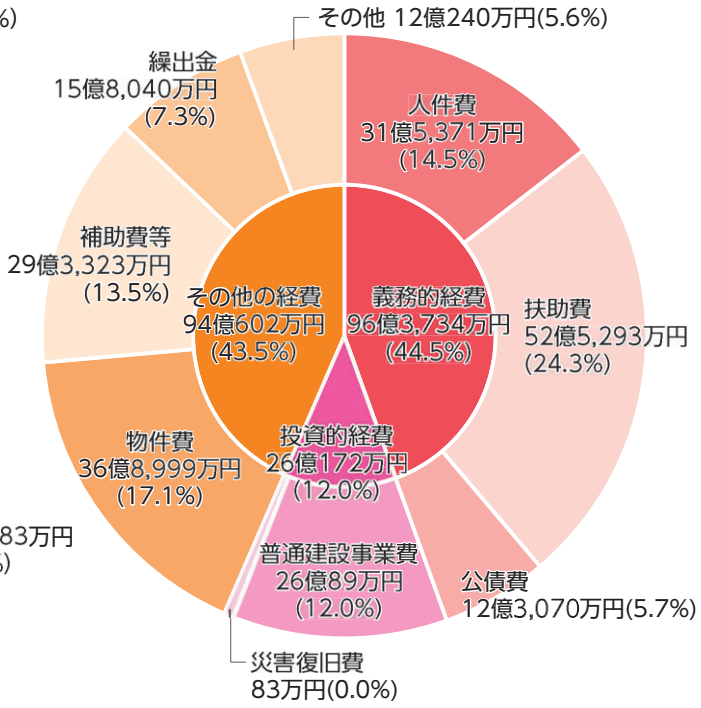
歳入　227 億 7,837 万円
▶前年度から約 15.6 億円の増



歳入は、ふるさと納税や市税収入の確保に努めたほか、物価高騰対策関連の国庫支出金が増加した結果、前年度比 15 億 6,418 万円の増となりました。

- ●市税　77 億 2,776 万円
  - ▶前年度から 3 億 6,866 万円の増
  - ※令和６年度は国の施策である定額減税によって一時的な市税の減少（約２億円）がありました。
- ●ふるさと納税　17 億 9,801 万円
  - ▶前年度から 8 億 8,254 万円の増
- ●国庫支出金　46 億 4,422 万円
  - ▶前年度から 5 億 2,809 万円の増

歳出（性質別）　216 億 4,508 万円
▶前年度から約 16.9 億円の増



歳出は、物価高騰対策事業や「子どもの遊びと交流基地 miina」オープンに向けたハナトピア岩沼リニューアル事業などを行ったことから、前年度比 16 億 9,298 万円の増となりました。

- ●ハナトピア岩沼リニューアル関係　7 億 6,589 万円
- ●ふるさと納税関連経費（返礼品など）　8 億 5,876 万円

主な物価高騰対策事業

- ●子育て世帯支援のため給付した物価高対応子育て応援手当事業　　1億 2,858 万円
- ●令和６年度に実施した定額減税補足給付金の支給額に不足が生じた方に対し、給付した不足額給付事業　1 億 3,316 万円

一般会計の市債（借金）と基金（貯金）

未来を担う子どもたちに大きな負担を残さないように市債残高の圧縮や貯金である基金の確保に努めました。

- ●市債残高 108 億 7,735 万円
  - ▶前年度から 1,108 万円の減
- ●基金残高 116 億 857 万円
  - ▶前年度から 7 億 9,229 万円の増

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	41 億 5,833 万円	40 億 4,831 万円
後期高齢者医療	6 億 8,370 万円	6 億 6,633 万円
介護保険事業	44 億 8,350 万円	43 億 1,063 万円
矢野目西地区土地区画整理事業	528 万円	475 万円

特別会計：国民健康保険や介護保険など、特定収入（保険料など）を財源とする会計